



Nissan Chemical  
CORPORATION

未来のための、はじめてをつくる。

# 2025年3月期 第1四半期 決算説明会

説明者 大門秀樹(取締役専務執行役員CFO)

2024年8月9日



# Contents

01

2024年度第1四半期 連結決算報告 P3

02

セグメント概況 P11

03

ESGトピックス P36

04

参考資料 P41

# Contents

01	2024年度第1四半期 連結決算報告	P3
02	セグメント概況	P11
03	ESGトピックス	P36
04	参考資料	P41

1Q

## 業績予想比

(2024年5月発表予想との比較)

- 売上高は、25億円上ぶれ(+4%)
- 営業利益は、25億円上ぶれ(+21%)
- 純利益は、23億円上ぶれ(+25%)

1Q

## 前年同期比

- 売上高は、38億円増収(+7%)
- 営業利益は、6億円減益(-4%)  
主要セグメント※1合計では1億円増益
- 純利益は、6億円減益(-5%)

※1 化学品、機能性材料、農業化学品、ヘルスケア

## 株主還元状況

- 自己株式取得  
5月13日発表の50億円に加えて、5月28日に追加50億円を発表  
上限100億円、期間:2024年5月~2025年3月

## 業績予想

- 上期及び通期の業績予想は、2024年5月13日発表より変更なし

# 2024年度1Q決算サマリー 業績予想比

(億円)

	2024年度 1Q予想	2024年度 1Q実績	業績予想比
売上高	562	587	+25 (+4%)
営業利益	119	144	+25 (+21%)
営業外損益	3	16	+13
為替差損益	0	13	+13
経常利益	122	160	+38 (+31%)
特別損益	0	0	0
純利益※1	93	116	+23 (+25%)
EBITDA※2	-	180	-
EPS(円/株)	-	83.78	-
売上高営業利益率	21.2%	24.6%	+3.4pt
為替レート(円/ドル)	145	156	-
原油(JCC)(ドル/bbl)※3	82	88	-

※1 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

※3 実績は財務省貿易統計ベース

# 2024年度1Q決算サマリー 前年同期比

(億円)

	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年同期比
売上高	549	587	+38 (+7%)
営業利益	150	144	-6 (-4%)
営業外損益	20	16	-4
為替差損益	15	13	-2
経常利益	170	160	-10 (-6%)
特別損益	0	0	0
純利益※1	122	116	-6 (-5%)
EBITDA※2	178	180	+2
EPS(円/株)	87.40	83.78	-3.62
売上高営業利益率	27.3%	24.6%	-2.7pt
為替レート(円/ドル)	137	156	-
原油(JCC)(ドル/bbl)※3	83	88	-

※1 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

※2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

※3 実績は財務省貿易統計ベース

		2024年度 実績	業績予想	業績予想比	2023年度 実績	前年同期比
		<b>144</b> 億円	<b>119</b> 億円	<b>+25</b> 億円(+21%)	<b>150</b> 億円	<b>-6</b> 億円(-4%)
1Q	化学品	業績予想比 8億円上ぶれ 前年同期比 -2億円	固定費等※1下ぶれ(在庫変動影響が大半、増益要因)により利益上ぶれ テピック・高純度硫酸増収も、尿素・アドブルー減収及び固定費等増加により減益			
	機能性材料	業績予想比 15億円上ぶれ 前年同期比 +5億円	ディスプレイ下ぶれも、半導体・無機上ぶれにより利益上ぶれ ディスプレイ減収も、半導体・無機増収により増益			
	農業化学品	業績予想比 1億円下ぶれ 前年同期比 +3億円	グレーシア等上ぶれも、タルガ下ぶれ・固定費等上ぶれ(1億円、固定費下ぶれも在庫変動影響あり、減益要因)により利益若干下ぶれ グレーシア・フルララネル・パーミット等増収により増益			
	ヘルスケア	業績予想比 予想通り 前年同期比 -5億円	リバロ・ファインテック減収により減益、但しファインテックは2Qへ出荷後ろ倒し			

※1 固定費等には在庫変動影響を含む

# 営業外損益・特別損益の内訳

(億円)

	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年同期比	2024年度 1Q予想
受取利息・配当金	2.9	2.9	0.0	3.0
持分法投資損益	5.4	1.3	-4.1	1.7
為替差損益※1	14.8	12.7	-2.1	0.0
支払利息	-1.2	-1.8	-0.6	-2.0
固定資産処分損他	-1.4	0.9	+2.3	0.3
<b>営業外損益</b>	<b>20.5</b>	<b>16.0</b>	<b>-4.5</b>	<b>3.0</b>
特別利益	0.0	0.0	0.0	0.0
特別損失	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>特別損益</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>

※1 為替レート(円/ドル): 23/3末 133.54、23/6末 144.99、24/3末 151.40、24/6末 161.14

2024年度1Q実績のフリー・キャッシュ・フローは125億円となり、前年同期比53億円の増加

(億円)

	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	123	153	+30
税金等調整前純利益	171	160	-11
特別損益(マイナスは益)	0	0	0
減価償却費※1	28	36	+8
法人税等の支払	-74	-47	+27
運転資金増減他	-2	4	+6
投資活動によるキャッシュ・フロー	-51	-28	+23
設備投資※2	-66	-32	+34
投資有価証券購入・売却	0	-1	-1
その他	15	5	-10
フリー・キャッシュ・フロー	72	125	+53
財務活動によるキャッシュ・フロー	-106	-17	+89
株主還元(配当)	-132	-130	+2
株主還元(自己株式取得)	-50	-41	+9
有利子負債増減	76	164	+88
その他	0	-10	-10
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	1	-1
現金及び現金同等物の増減額	-32	110	+142
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	0	0
現金及び現金同等物の残高	265	338	+73

※1 のれん償却費を含む ※2 無形資産を含む

# 貸借対照表

(億円)

	2023年6月末	2024年3月末	2024年6月末	前期末比
<b>流動資産</b>	<b>1,846</b>	<b>2,020</b>	<b>2,122</b>	<b>+102</b>
現預金	264	227	338	+111
売上債権	778	888	858	-30
たな卸資産	716	782	833	+51
その他	88	123	93	-30
<b>固定資産</b>	<b>1,168</b>	<b>1,215</b>	<b>1,236</b>	<b>+21</b>
有形固定資産	721	774	788	+14
無形固定資産	114	107	108	+1
投資有価証券	276	261	265	+4
その他	57	73	75	+2
<b>資産合計</b>	<b>3,014</b>	<b>3,235</b>	<b>3,358</b>	<b>+123</b>

	2023年6月末	2024年3月末	2024年6月末	前期末比
<b>負債</b>	<b>833</b>	<b>925</b>	<b>1,087</b>	<b>+162</b>
買入債務	174	204	198	-6
借入金	374	410	474	+64
その他	285	311	415	+104
<b>純資産</b>	<b>2,181</b>	<b>2,310</b>	<b>2,271</b>	<b>-39</b>
株主資本※1	2,029	2,140	2,085	-55
その他有価証券評価差額金	81	83	85	+2
為替換算調整勘定	34	42	54	+12
非支配株主持分	35	34	37	+3
退職給付に係る調整累計額	2	11	10	-1
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,014</b>	<b>3,235</b>	<b>3,358</b>	<b>+123</b>

自己資本比率	71.2%	70.3%	66.5%
D/Eレシオ※2	5.4%	8.6%	6.5%

## 投資有価証券(固定資産)の内訳

	2023年6月末	2024年3月末	2024年6月末	前期末比
<b>上場株式※3</b>	<b>174</b>	<b>171</b>	<b>175</b>	<b>+4</b>
(単体ベース保有銘柄数)	(26)	(24)	(24)	(0)
<b>非上場株式</b>	<b>26</b>	<b>23</b>	<b>23</b>	<b>0</b>
<b>関係会社株式</b>	<b>76</b>	<b>67</b>	<b>67</b>	<b>0</b>
<b>合計</b>	<b>276</b>	<b>261</b>	<b>265</b>	<b>+4</b>

純資産に占める 政策保有株式の割合※4	8.3%	7.7%	7.9%
------------------------	------	------	------

## 参考

2018年3月末	300
	(55)
	17
	68
	385
	17.0%

※1 株主資本増減 -55 = 純利益116 - 配当その他171 ※2 D/Eレシオ = (借入金 - 現金預金) / 株主資本

※3 24/3末 171 + 取得0 + 評価差額4 = 24/6末 175 ※4 政策保有株式割合 = 政策保有株式(単体ベース、上場株 + 非上場株) / 純資産(連結ベース)

# Contents

01

2024年度第1四半期 連結決算報告 P3

02

セグメント概況 P11

03

ESGトピックス P36

04

参考資料 P41

# セグメント別 2024年度1Q決算 前年同期比

(億円)

		2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年同期比
化学品	売上高	91	89	-2 (-2%)
	営業利益	9	7	-2 (-28%)
機能性材料	売上高	208	235	+27 (+13%)
	営業利益	65	70	+5 (+9%)
農業化学品	売上高	188	204	+16 (+8%)
	営業利益	66	69	+3 (+5%)
ヘルスケア	売上高	20	15	-5 (-25%)
	営業利益	11	6	-5 (-44%)
卸売・その他・調整額	売上高	42	44	+2
	営業利益	-1	-8	-7
合計	売上高	549	587	+38 (+7%)
	営業利益	150	144	-6 (-4%)

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ・NCアグロ函館（農業製品の製造。2024年度より連結子会社化）・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか（内訳はp50,p51参照）

# セグメント別 2024年度1Q決算 業績予想比

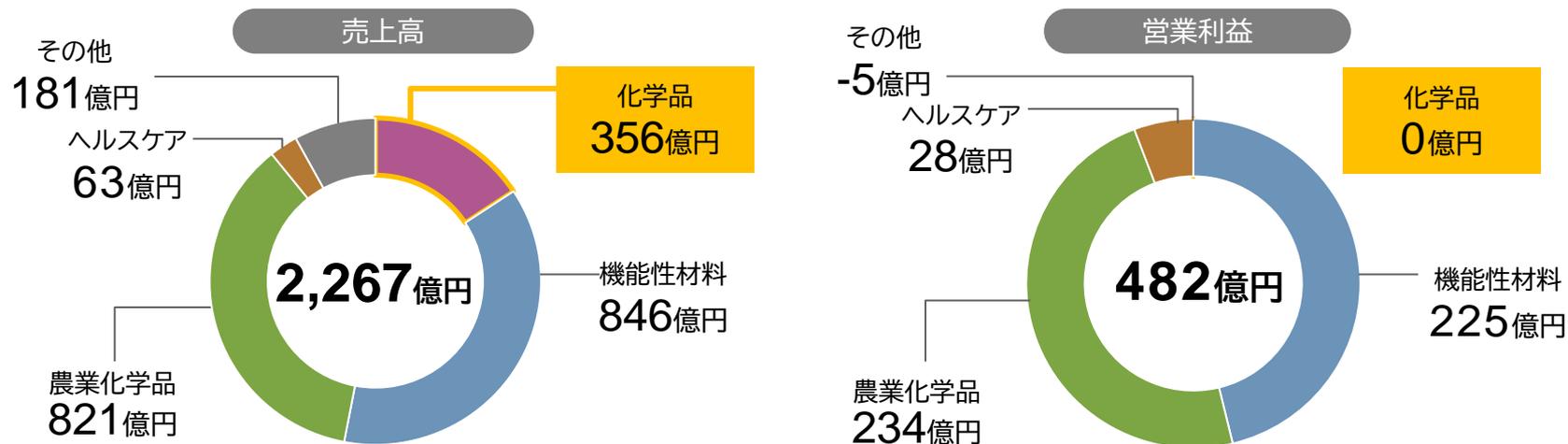
(億円)

		2024年度 1Q予想	2024年度 1Q実績	業績予想比
化学品	売上高	91	89	-2 (-2%)
	営業利益	-1	7	+8 (-)
機能性材料	売上高	221	235	+14 (+6%)
	営業利益	55	70	+15 (+28%)
農業化学品	売上高	199	204	+5 (+2%)
	営業利益	70	69	-1 (-1%)
ヘルスケア	売上高	18	15	-3 (-19%)
	営業利益	6	6	0 (+2%)
卸売・その他・調整額	売上高	33	44	+11
	営業利益	-11	-8	+3
合計	売上高	562	587	+25 (+4%)
	営業利益	119	144	+25 (+21%)

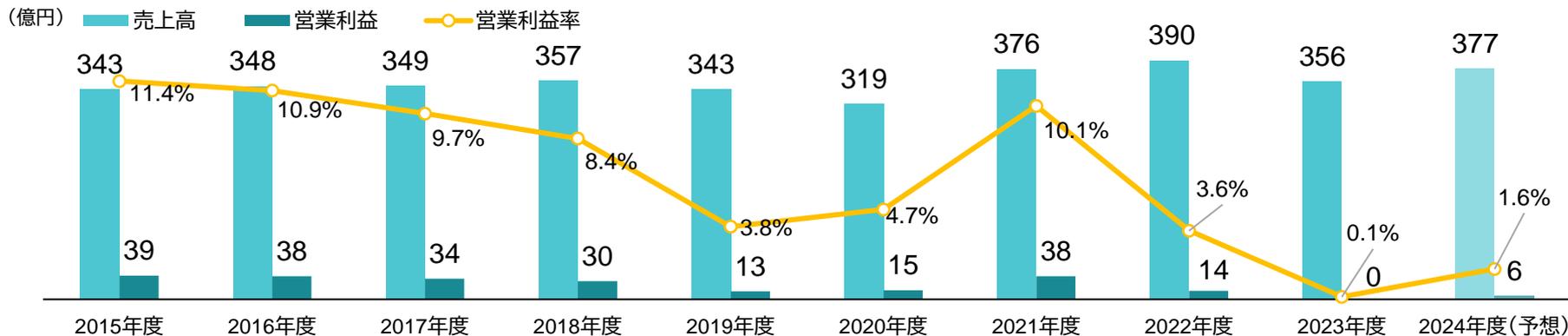
※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ・NCアグロ函館(農業製品の製造。2024年度より連結子会社化)・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか(内訳はp50,p51参照)

2023年度セグメント別業績



化学品セグメント業績推移※1



※1 2022年4月に組織改定を実施。2015～2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p53参照)

【1Q】売上高-2億円、営業利益-2億円

(億円)

	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年同期比
売上高	91	89	-2
ファインケミカル	30	31	+1
基礎化学品	61	58	-3
営業利益	9	7	-2

【1Q】増収・増益

ファイン  
ケミカル

- テピック一般 +61%増収(数量増)
- テピック電材 +28%増収
- 環境化学品 -11%減収
- ファインオキシコール -3%減収

【1Q】減収・減益

基礎  
化学品

- 尿素・アドブルー® -26%減収  
(震災影響による在庫水準減で出荷減)
- 高純度硫酸 +36%増収(数量増、価格上昇)
- 硝酸製品 -4%減収

【1Q】売上高-2億円、営業利益+8億円、  
固定費等下ぶれ8億円(在庫変動影響が大半を占める、増益要因)

(億円)

	2024年度 1Q予想	2024年度 1Q実績	業績予想比
売上高	91	89	-2
ファインケミカル	31	31	0
基礎化学品	60	58	-2
営業利益	-1	7	+8

【1Q】売上高予想通り、営業利益上ぶれ

ファイン  
ケミカル

テピック一般 売上高上ぶれ

テピック電材 売上高上ぶれ

環境化学品 売上高下ぶれ

ファインオキシコール 売上高下ぶれ

固定費等下ぶれ2億円(増益要因)

【1Q】売上高下ぶれ、営業利益上ぶれ

基礎  
化学品

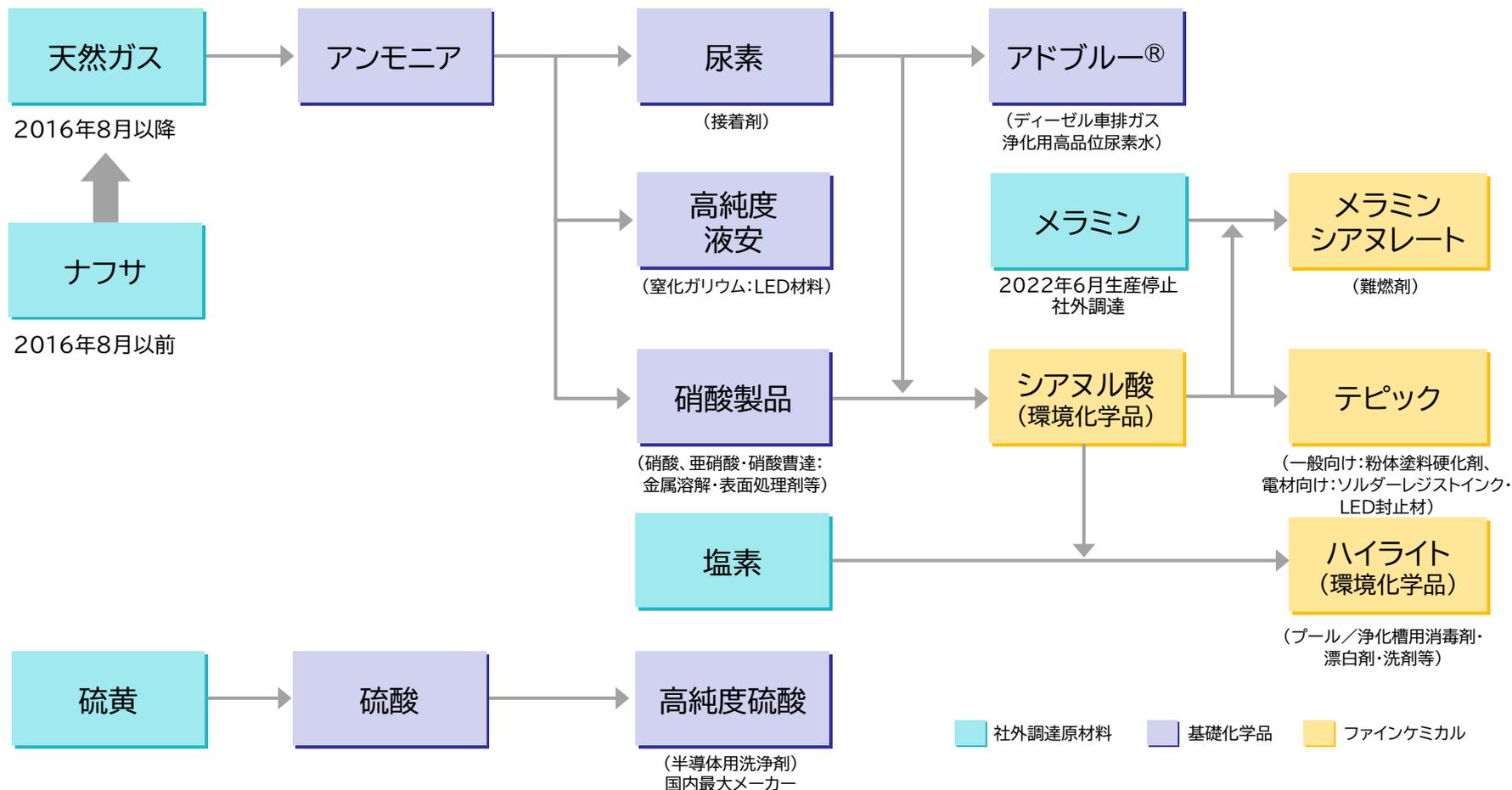
尿素・アドブルー® 売上高下ぶれ

高純度硫酸 売上高上ぶれ

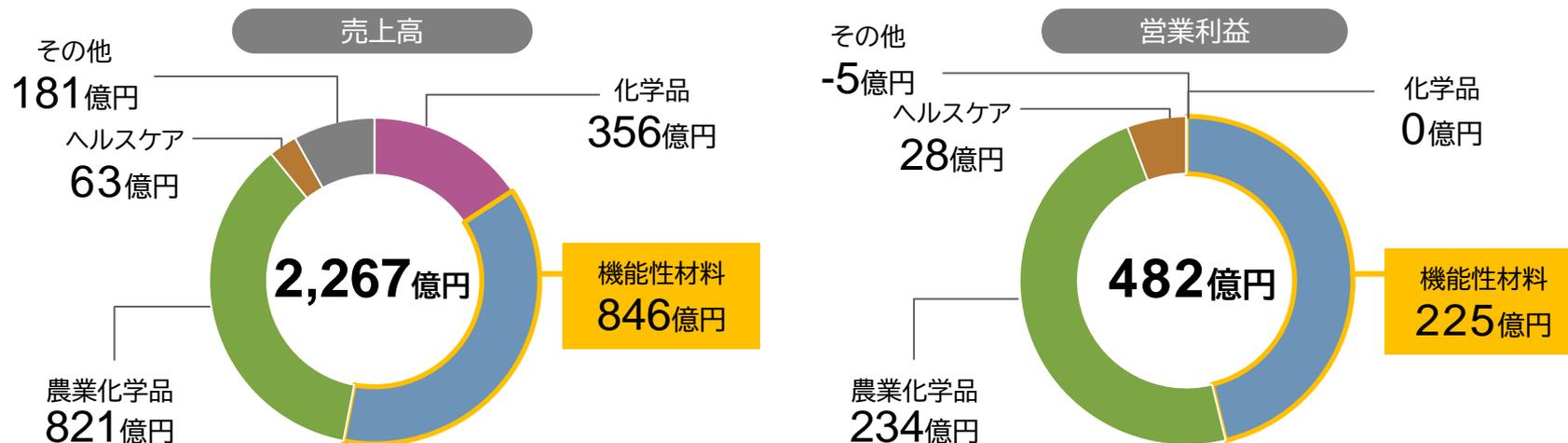
硝酸製品 売上高下ぶれ

固定費等下ぶれ6億円(増益要因)

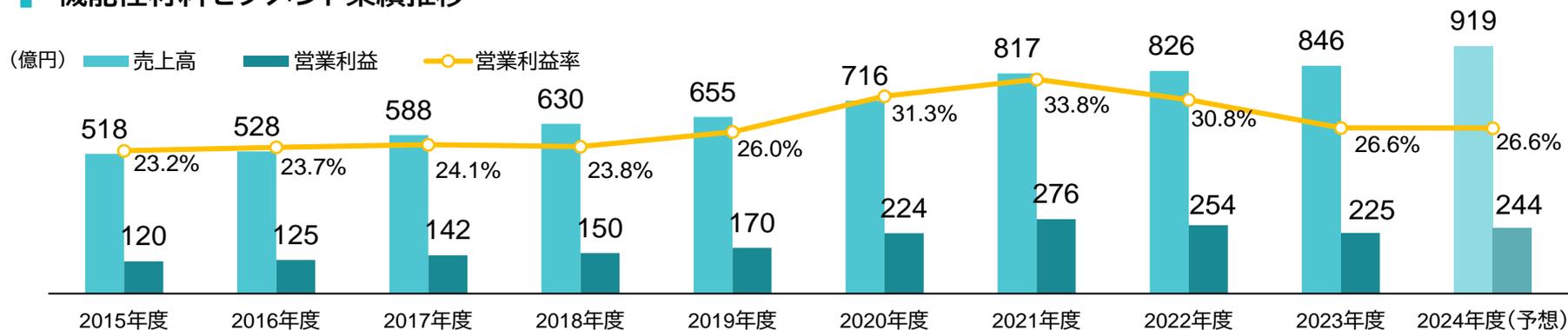
- 主要製品は、アンモニア系と硫酸系
- 2023年度アンモニア国内生産能力シェアはわずか11%
- 規模を追わず、高純度硫酸やテピックなどの高付加価値製品へ注力



## 2023年度セグメント別業績

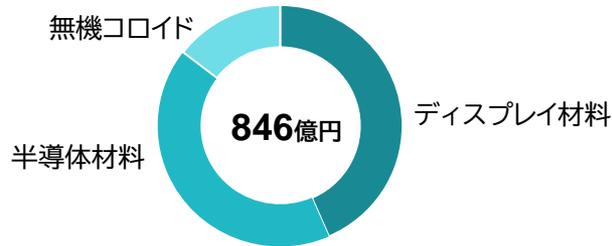


## 機能性材料セグメント業績推移※1

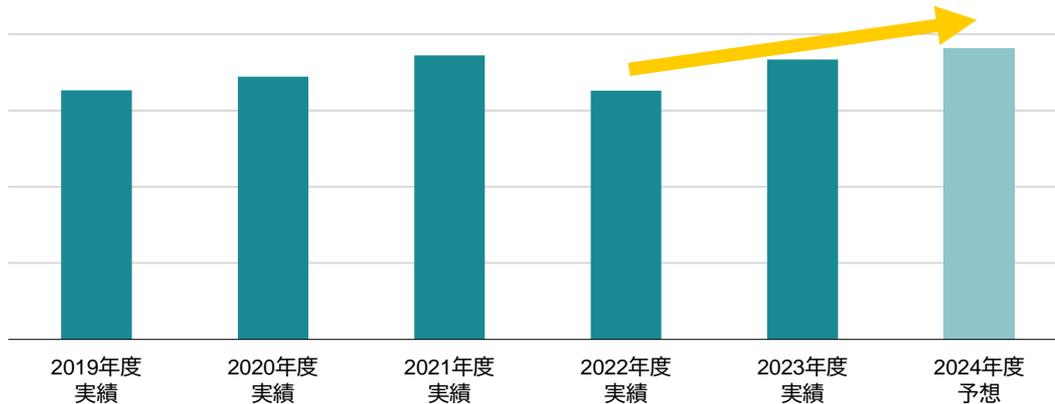


※1 2022年4月に組織改定を実施。2015～2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p53参照)

機能性材料サブセグメント売上高構成(2023年度実績)

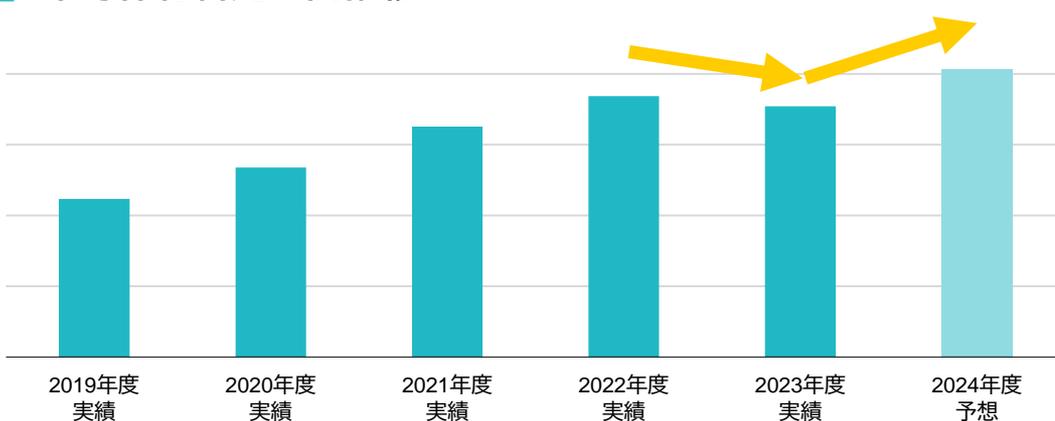


ディスプレイ材料売上高推移



- 2022年度を底として市場回復
- 他モード(ラビングIPSなど)から光IPSへの転換は順調に進む

半導体材料売上高推移



- 2023年度は一時的な調整局面にあったが、足元の市場の回復傾向は今後も継続の見通し
- 中長期での成長トレンドは不変
- EUV材料は顧客生産増により伸長

- ディ스플레이材料は、1Qで前年同期比4%減収、業績予想比でも下ぶれ、前四半期比では増収
- 半導体材料は、1Qで前年同期比33%増収、業績予想比でも上ぶれ、前四半期比でも増収
- 無機コロイドは、1Qで前年同期比12%増収、業績予想比でも上ぶれ

主要製品	2024年度 1Q実績	
	前年同期比	業績予想比
サンエパー	-4%	下ぶれ
ディスプレイ材料合計	-4%	下ぶれ
<b>ARC®</b>	<b>+22%</b>	上ぶれ
多層材料	<b>+59%</b>	上ぶれ
<b>EUV材料※1</b>	<b>+42%</b>	上ぶれ
半導体材料合計	<b>+33%</b>	上ぶれ
無機コロイド合計	<b>+12%</b>	上ぶれ
機能性材料セグメント合計	<b>+13%</b>	上ぶれ

※1 EUV材料: EUV向け下層膜とSi-HMの合計

## 【1Q】売上高+27億円、営業利益+5億円、固定費等増加合計12億円

	(億円)		
	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年同期比
売上高	208	235	+27
営業利益	65	70	+5

## 【1Q】減収・減益

ディスプレイ

光IPS

減収

(スマホ向け減収、モニター・車載向け増収)

ラビングIPS

減収

VA

横ばい

固定費等増加1億円

## 【1Q】増収・増益

半導体

ARC®

増収

多層材料

増収

EUV材料

増収

先端世代を中心に半導体市場回復、  
固定費等増加11億円

無機

コロイド

## 【1Q】増収・増益

スノーテックス(一般用途・研磨剤)、  
オルガノ・モノマーゾル増収

【1Q】売上高+14億円、営業利益+15億円、固定費等下ぶれ合計5億円(増益要因)

	2024年度 1Q予想	2024年度 1Q実績	業績予想比
売上高	221	235	+14
営業利益	55	70	+15

(億円)

【1Q】売上高・営業利益とも下ぶれ

ディス  
プレイ

光IPS

売上高下ぶれ  
(スマホ・モニター向け下ぶれ)

ラビングIPS

売上高上ぶれ

VA

売上高予想通り

固定費等下ぶれ1億円(増益要因)

【1Q】売上高・営業利益とも上ぶれ

半導体

ARC®

売上高上ぶれ

多層材料

売上高上ぶれ

EUV材料

売上高上ぶれ

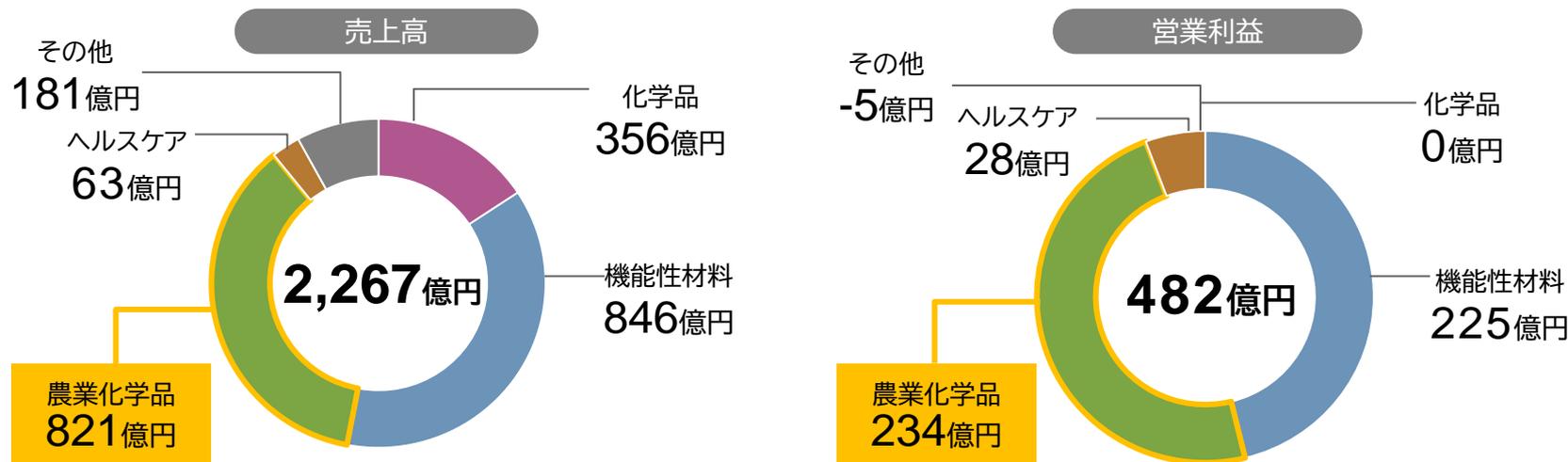
先端世代を中心に半導体市場回復、  
固定費等下ぶれ3億円(増益要因)

無機  
コロイド

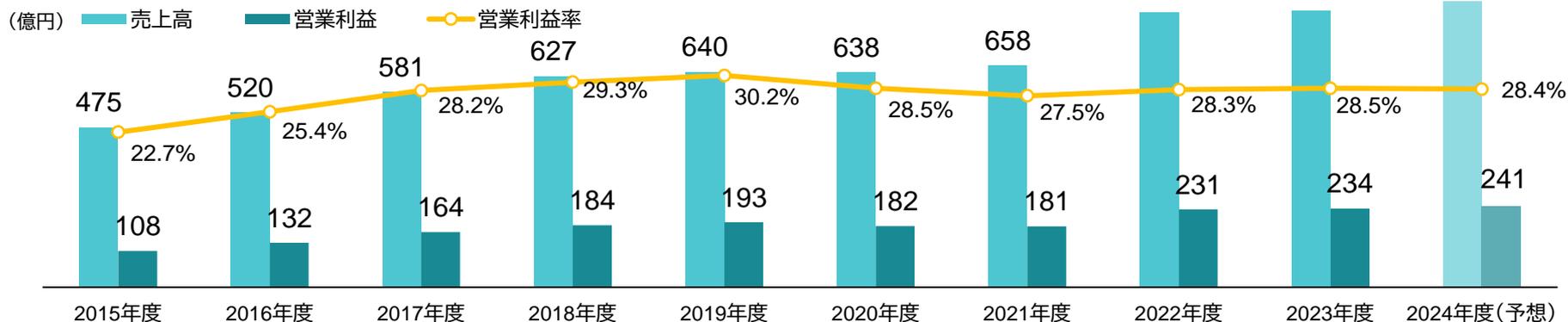
【1Q】売上高・営業利益とも上ぶれ

スノーテックス(一般用途・研磨剤)、  
オルガノ・モノマーゾル売上高上ぶれ

## 2023年度セグメント別業績



## 農業化学品セグメント業績推移※1



※1 2022年4月に組織改定を実施。2015～2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p53参照)

■ 1Qで8%増収、業績予想比でも上ぶれ

主要製品名 (農業:2023年度売上高順)	種類	2024年度 1Q実績	
		前年同期比	業績予想比
ラウンドアップ※1	除草剤	-1%	予想通り
アルテア	除草剤	+21%	上ぶれ
グレーシア	殺虫剤	+44%	上ぶれ
農薬 タルガ	除草剤	-55%	下ぶれ
ダイセン	殺菌剤	-20%	下ぶれ
パーミット	除草剤	+69%	上ぶれ
ライメイ	殺菌剤	+121%	上ぶれ
動物薬 フルララネル	動物薬	+11%	予想通り
セグメント合計※2	-	+8%	上ぶれ

参考

[ラウンドアップの現状説明会資料](#)

(2020年1月22日発表)

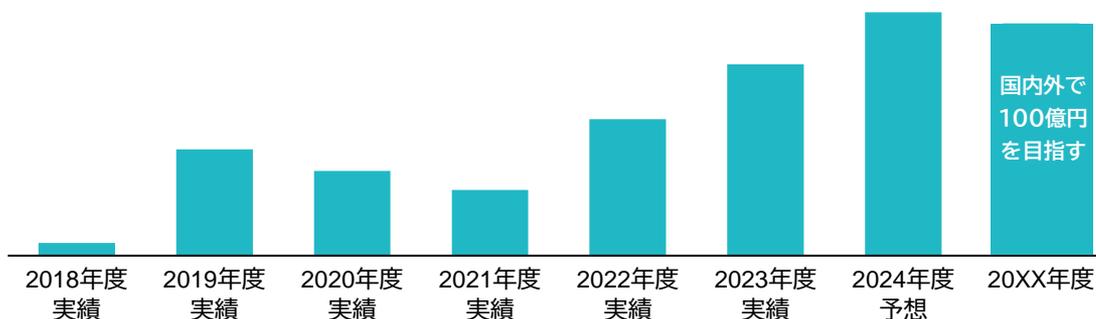
[農業化学品事業説明会資料](#)

(2022年9月28日発表)

※1 ラウンドアップALは、2024年度1Q実績のラウンドアップ売上高全体の34%を占める

※2 セグメント合計の前年同期比は値引きを含む

■ グレーシア売上高



【1Q】売上高+16億円、営業利益+3億円、固定費等増加8億円

(億円)

	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年同期比
売上高	188	204	+16
営業利益	66	69	+3

主要製品

ラウンドアップ(除草剤)	横ばい
アルテア(除草剤)	増収(国内: 拡販)
グレーシア(殺虫剤)	増収(輸出: アジアでの拡販)
タルガ(除草剤)	減収(輸出: 23年度へ出荷前倒し、欧州での流通在庫影響)
ダイセン(殺菌剤)	減収(輸出: 一部出荷後ろ倒し)
パーミット(除草剤)	増収(輸出: アジアでの需要増により増収)
ライメイ(殺菌剤)	増収(輸出: 欧州での需要増により増収)
フルララネル(動物薬)	増収(原薬出荷横ばい、ロイヤリティ増収、一部円安影響あり)

【1Q】売上高+5億円、営業利益-1億円、  
 固定費等上ぶれ1億円(固定費下ぶれも在庫変動影響あり、減益要因)

(億円)

	2024年度 1Q予想	2024年度 1Q実績	業績予想比
売上高	199	204	+5
営業利益	70	69	-1

主要製品

ラウンドアップ(除草剤)	売上高予想通り
アルテア(除草剤)	売上高上ぶれ
グレーシア(殺虫剤)	売上高上ぶれ(輸出:アジアでの拡販)
タルガ(除草剤)	売上高下ぶれ(輸出:23年度へ出荷前倒し、欧州向け下ぶれ)
ダイセン(殺菌剤)	売上高下ぶれ(輸出:一部出荷後ろ倒し)
パーミット(除草剤)	売上高上ぶれ(輸出:アジアでの需要増により上ぶれ)
ライメイ(殺菌剤)	売上高上ぶれ(輸出:欧州での需要増により上ぶれ)
フルララネル(動物薬)	売上高予想通り

上市年度	製品名	分類	開発経緯	備考
2002	ラウンドアップ	除草剤	買収	米国モンサント社より国内事業を買収、継続成長中
2008	ライメイ	殺菌剤	自社開発	
2008	スターマイト	殺虫剤	自社開発	
2009	パルサー(チフルザミド)	殺菌剤	買収	米国ダウ社より世界事業を買収
2010	ラウンドアップマックスロードAL	除草剤	自社開発	一般家庭向け希釈済みシャワータイプ除草剤。2016年AlⅡ、2017年AlⅢ上市
2011	アルテア	除草剤	自社開発	2011年韓国で上市、2012年日本で上市
2013	フルラナレル	動物用医薬品原薬	自社開発	米国MSD社※1向けにブラバクト®原薬として出荷開始
2014	ブラバクト®※2	ペット動物用医薬品	-	2014年4月欧州、6月米国、15年7月日本で上市
2017	トランスフォーム™/エクシード™ /ビレスコ™	殺虫剤	導入	米国ダウ社より導入
2018	グレーシア	殺虫剤	自社開発	広範囲の重要害虫に有効、ミツバチへの影響が少ない。2018年韓国、2019年日本、2021年インド・インドネシアで上市以降、順次販売国拡大中(ピーク時売上高目標100億円)
2019	クインテック(キノキシフェン)	殺菌剤	買収	2019年11月米国コルテバ社より世界事業を買収。果樹野菜のうどんこ病(カビの1種)の発病予防に非常に効果的
2020	ダイセン(マンゼブ)	殺菌剤	買収	2020年12月米国コルテバ社より日本・韓国事業を買収。果樹野菜用の保護除菌剤、耐雨性に優れる
2024	バルダー(ジメスルファゼット) (NC-653)	除草剤	自社開発	イネへの優れた安全性があり、抵抗性ホタルイや難防除雑草クログワイに高い効果を持つ(ピーク時売上目標35億円)
2027	未定(NC-520)	殺虫剤	共同開発	他社との共同開発の新規水稲用殺虫剤。ウンカ類への効果が高い(混合剤も含めピーク時売上目標25億円)
2027	未定(イプトリアゾピリド) (NC-656)	除草剤	自社開発	抵抗性イネ科雑草(ヒエ・アゼガヤ)に優れた効果を持つ。当社初の水稲用茎葉除草剤(ピーク時売上高目標100億円)

既存製品

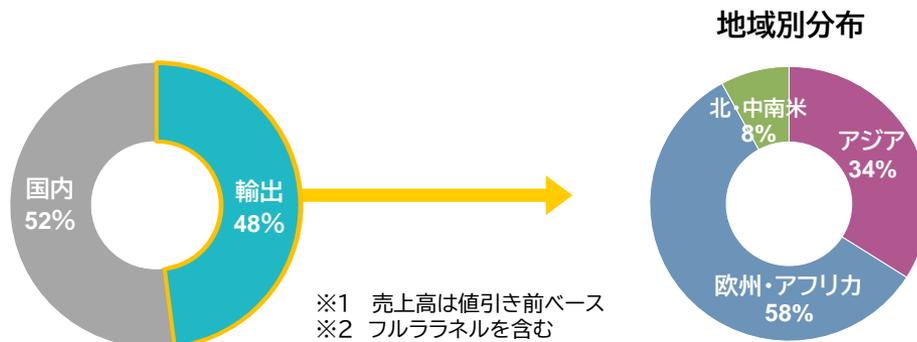
新製品・パイプライン

新製品群の  
ピーク時売上高  
目標合計  
**310**億円

※1 MSD社:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称 ※2 ブラバクト®:MSD社の販売製品名

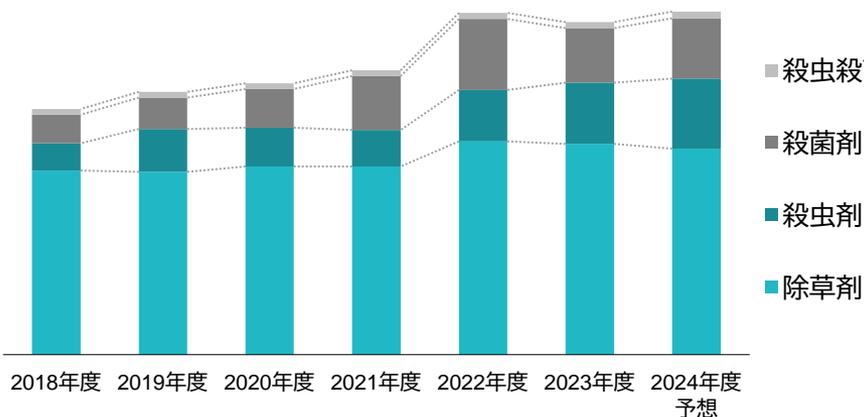
国内農薬販売 第1位(2021年10月~2022年9月)  
 農薬売上高は国内向けの方が海外向けよりも大きい

## 農業化学品セグメントの輸出比率(2023年度実績)※1・2

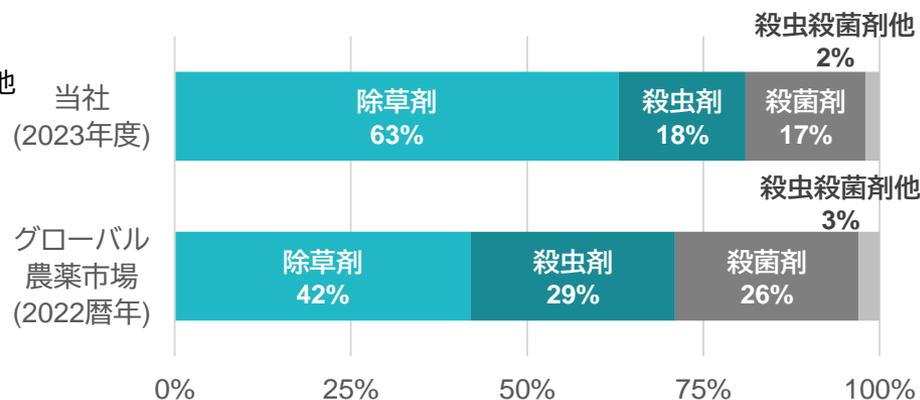


既存剤の拡販、自社開発剤の上市、剤の買収・導入により、製品ポートフォリオの拡充を進める

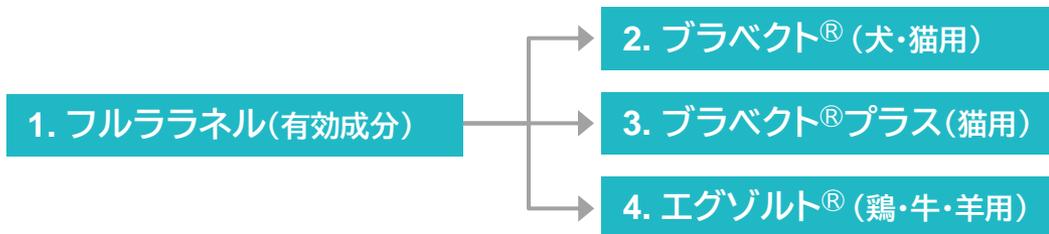
## 当社の農薬売上高推移



## 当社の農薬売上高構成比



- 当社が発明した化合物「フルララネル」を有効成分とするブラベクト®シリーズ・エグゾルト®は現在100か国以上で販売中
- ブラベクト®最大の特徴は12週間にわたる効果持続性(既存製品は1か月程度)



### 1. フルララネル(Fluralaner)

- ブラベクト®・エグゾルト®の有効成分。当社がMSD社※1に供給
- これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有している
- 化合物特許
  - 2025年3月に終了するが、多数の国で延長制度あり
  - UK、ドイツ、フランス等一部欧州諸国では、2029年2月まで延長済み、米国は延長申請中

### 2. ブラベクト® (BRAVECTO®)

- MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬。犬・猫のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れる
- 通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間※2にわたって持続する
- 犬向けチュアブルタブレット(経口投与製剤)
  - 2014年4月欧州、以降米国、日本等で上市
  - 2020年7月1か月剤(子犬向け)米国上市
- 犬、猫向けスポットオン製品(経皮投与製剤)
  - 2016年7月欧州、以降米国、日本等上市
- 犬向け注射剤(BRAVECTO® Quantum)
  - 12か月※3の効果持続性
  - 2024年6月豪州、以降欧州等にて上市

### 3. ブラベクト®プラス (BRAVECTO® Plus)

- 猫向け内外寄生虫スポットオン合剤
  - 2018年7月欧州、以降米国、日本等上市

### 4. エグゾルト® (EXZOLT®)

- 鶏向けワクモ駆除剤(飲水投与)
  - 2017年9月欧州、以降韓国、中東等上市、2021年7月日本上市
- 牛向け
  - 2022年9月ブラジル上市、2023年4月メキシコ上市
- 羊向け
  - 2023年豪州、NZにて上市

※1 米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称

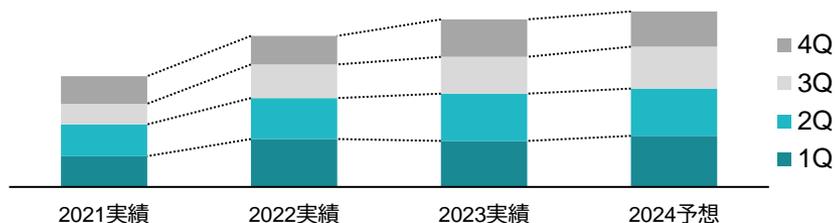
※2 クリロコイタマダニは8週間

※3 クリロコイタマダニは11か月

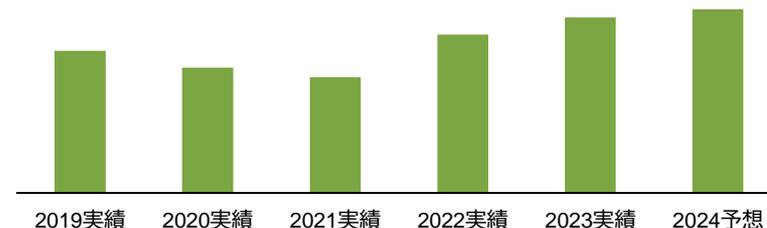
## ■ 当社のフルララネル売上高の構成

MSD社へのフルララネル販売 + MSD社からのランニングロイヤリティ(RR)

## ■ 2021～2024年度 四半期別売上高推移 (RR収入含む)



## ■ 2019～2024年度 売上高推移 (RR収入含む)



ロイヤリティ収入は、2020年度まで2・4Q計上であったが、会計方針の変更にともない、2021年度からは各四半期に計上されている(p52参照)

- ・フルララネルの在庫調整は2021年度で完了
- ・2022年度は、2021年度からの出荷後ろ倒しと円安影響により大幅増収。実績為替レートは136円/ドル
- ・2023年度の実績為替レートは145円/ドル
- ・2024年度の想定為替レートは上期145円/ドル、下期140円/ドル

## ■ ブラバクト®の拡大に向けたMSD社の開発状況

- フルララネルを有効成分とするペット向けの新たな内外部寄生虫薬をMSD社が開発中

- グローバルな安定供給と製造コスト削減を目指した新たな原体生産拠点
- 計画通り設立完了し、2022年度よりNBRを連結子会社に追加。2023年3月から商業稼働を開始
- 2023年度は計画通り単体黒字化

## Nissan Bharat Rasayan Private Limited(NBR)概要

本社所在地	ハリヤナ(Haryana)州グルガオン(Gurgaon)(ニューデリー近郊)
工場所在地	グジャラート(Gujarat)州サイカ(Saykha)に新設 (土地は同州産業開発公社(GIDC)より賃借)
営業開始日	2020年4月1日
事業内容	当社の農業(グレーシア、ライメイ等)原体を製造し、 当社へ販売
従業員数	約150名(2024年4月1日時点)
工場稼働時期	2022年度4Qより稼働開始
株主	当社70%、Bharat Rasayan Ltd(略称BRL)30%
取締役会	当社指名5名、BRL指名2名、中立1名、合計8名

## Bharat Rasayan Ltd(BRL)概要

設立	1989年(インド大手農業製造販売会社)
上場	インド国立証取(NSE)、ボンベイ証取(BSE)
主要株主	グプタ(Sat Narain Gupta)会長等創業家一族74.99%
損益状況	2022年度売上高12,343百万ルピー、税引後利益1,246百万ルピー
工場	グジャラート州(Gujarat)ダヘジ(Dahej)、ハリヤナ州(Haryana) ロータク(Rohtak)の2工場
当社との関係	一部当社品を受託生産、グループ会社のBharat Certis Agriscienceが タルガ、パルサー、パーミットをインド国内で販売

## 資金計画 (2022年5月発表時点)

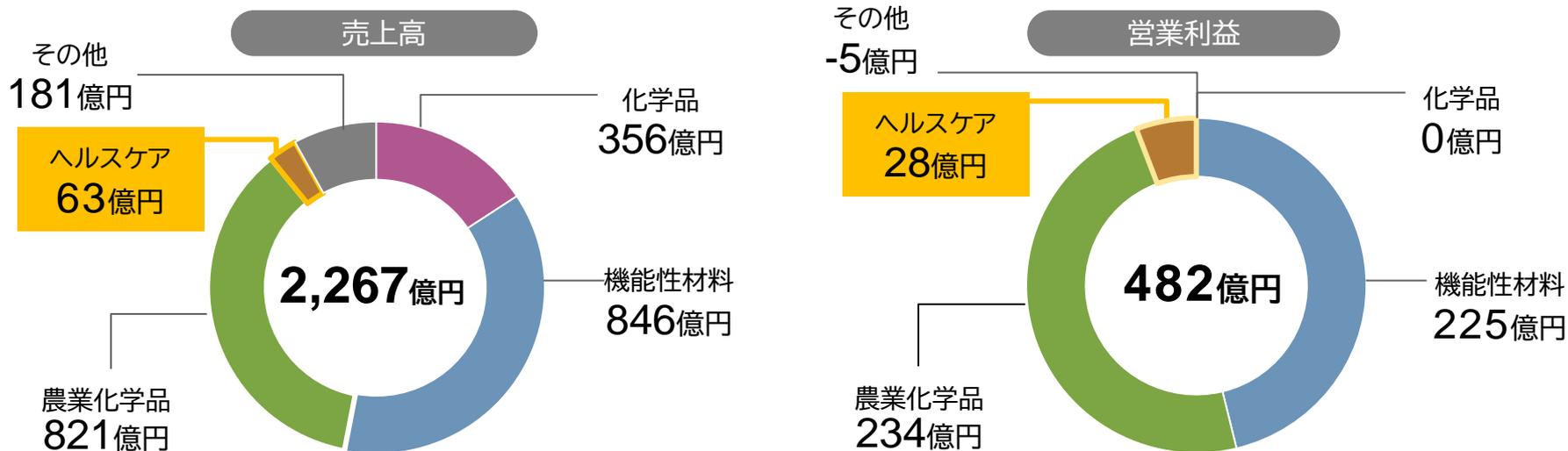
(億円)

設備投資	60	資本金	23
運転資金他	28	当社貸付	65
所要資金合計	88	資金調達合計	88

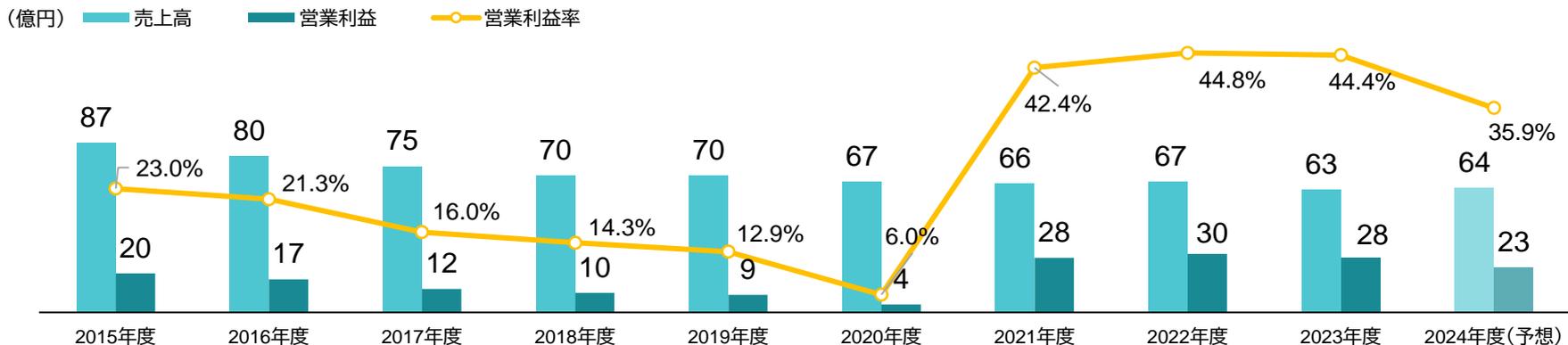
### 当社メリット

- 信頼できる経験豊富な現地パートナーの協力体制
- 有効成分の供給源の多様性・安全性確保と、原料不足リスクの低減
- 国内工場に比べて低い製造コスト
- すぐに利用できる工場用地(借地権の正式認可手続き完了済み)
- 既存の現地企業のM&Aに比べ、経営・財務リスクを大幅に軽減

2023年度セグメント別業績



ヘルスケアセグメント業績推移※1



※1 2022年4月に組織改定を実施。2015～2020年度実績は旧セグメント区分。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p53参照)

## リバロ

2003年に興和から上市した高コレステロール血症治療薬。現在、世界30か国以上で販売中(当社が原薬を供給)

売上高(原薬販売)の推移	2020年度 <sup>※2</sup>	2021年度	2022年度	2023年度 <sup>※3</sup>	2024年度 予想
前年同期比増減率	-30%	-17%	0%	-5%	-23%
うち国内	+6%	+30%	-17%	-3%	-38%
うち海外	-35%	-28%	+7%	-6%	-18%
2012年度比増減率 <sup>※1</sup>	-73%	-78%	-78%	-79%	-84%

※1 2013年8月 国内物質特許満了。2012年度がリバロ売上高(国内外計)のピーク

※2 2020年8月 欧州で市場独占期間満了

※3 2023年11月 米国ジェネリック参入

## ファインテック

課題解決受託事業および共同開発型事業として、前臨床から商業生産まで新薬の原薬・中間体製造プロセス研究を受託  
特に近年は高活性・高付加価値ジェネリック原薬を中心に新規案件獲得に注力

### ■ 高付加価値ジェネリック原薬の販売状況

販売開始年度	原薬	用途
2016	マキサカルシトール	尋常性乾癬／二次性副甲状腺機能亢進症治療
2017	エルデカルシトール	骨粗しょう症治療

### ■ ファインテック売上高の推移 (2014～2024年度)

(億円)

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 予想
18	23	24	25	26	29	38	42	43	40	45

【1Q】売上高-4.8億円、営業利益-4.8億円

(億円)

	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年同期比
売上高	19.5	14.7	-4.8
ヘルスケア	6.1	2.8	-3.3
ファインテック	13.4	11.9	-1.5
営業利益	10.9	6.1	-4.8
ヘルスケア	2.8	0.3	-2.5
ファインテック	8.1	5.8	-2.3

※ p7,12,p13,p50,p51では億円未満を四捨五入して表示しており、これにより本ページの数字と合致しない場合がある

【1Q】減収・減益

ヘルスケア

リバロ

減収(国内・輸出とも減収)

【1Q】減収・減益

ファイン  
テック

24年度2Qへ出荷後ろ倒し  
固定費等増加

【1Q】売上高-3.0億円、営業利益予想通り

(億円)

	2024年度 1Q予想	2024年度 1Q実績	業績予想比
売上高	17.7	14.7	-3.0
ヘルスケア	2.6	2.8	+0.2
ファインテック	15.1	11.9	-3.2
営業利益	6.1	6.1	0.0
ヘルスケア	0.5	0.3	-0.2
ファインテック	5.6	5.8	+0.2

※ p7,12,p13,p50,p51では億円未満を四捨五入して表示しており、これにより本ページの数字と合致しない場合がある

【1Q】売上高上ぶれ、営業利益下ぶれ

ヘルスケア

リバロ

売上高上ぶれ(国内予想通り、輸出上ぶれ)

【1Q】売上高下ぶれ、営業利益上ぶれ

ファイン  
テック

24年度2Qへ出荷後ろ倒し

固定費等下ぶれ(増益要因)

## Contents

01

2024年度第1四半期 連結決算報告 P3

02

セグメント概況 P11

03

ESGトピックス P36

04

参考資料 P41

E

(環境)

S

(社会)

- 2021年4月      ダイバーシティステートメントおよびダイバーシティビジョンを設定
- 2022年5月      2050年にカーボンニュートラルへ  
温室効果ガス(GHG)排出削減長期目標を設定(詳細はp40参照)
- 2022年6月      メラミン停止によるGHG削減(26千トン、2018年度実績の約7%に相当)
- 2022年6月      気候変動対策委員会設置
- 2023年9月      「[統合レポート2023](#)」を発行

G

(ガバナンス)

- 2019年4月      指名・報酬諮問委員会設置(取締役会の任意の諮問機関)
- 2019年6月      取締役等を対象に業績連動型株式報酬制度導入(株式給付信託)
- 2022年6月      役員報酬体系にESG指標を組入れ(基本報酬65%、業績報酬28%、株式報酬7%  
業績報酬28%のうち、利益連動部分90%、ESG連動部分10%)
- 2024年6月      女性取締役(社外)2名選任(再任)(取締役は計10名、うち社外4名)
- 2024年6月      「[コーポレートガバナンス報告書](#)」を更新

## Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index

- 2023年12月  
6年連続で構成銘柄に選定

Member of  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**  
Powered by the S&P Global CSA

## FTSE

- 2024年6月 FTSE4Good Index Series、FTSE Blossom Japan Index Seriesの構成銘柄に5年連続選定
- 2024年6月 FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄に3年連続選定

※ FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Company)の登録商標はここに日産化学株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。



## 健康経営優良法人 -ホワイト500-

- 2024年3月 8年連続認定



## 日経統合報告書アワード

- 2024年2月 「優秀賞」 に選定



## 外部イニシアチブへの参画



## S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

- 2023年6月  
5年連続で構成銘柄に選定



## MSCI

- 2023年6月 MSCI ESG格付け BBBからAへ格上げ
- 2024年1月 MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数 構成銘柄に選定
- 2024年6月 日本株女性活躍指数 (WIN) 5期連続構成銘柄に選定

**2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数** **2024 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)**

※ MSCI指数への日産化学株式会社の組み入れ、および本ページにおけるMSCIロゴ、商標、サービスマーク、または指数名称の使用は、MSCIまたはその関係会社による日産化学株式会社への後援、保証、または販売促進ではありません。MSCI指数は、MSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCI指数の名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

## Morningstar

- 2023年3月 Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Indexの構成銘柄に選定

## 「子育てサポート企業」くるみん

- 2023年1月 2回連続認定



2027年の企業像実現のため、当社が取り組むべきマテリアリティ(重要課題)を特定  
取り組みを推進することで社会とともに持続的な成長を目指す

▶▶▶1

人びとの暮らしに役立つ  
新たな価値の提供

▶ 日産化学サステナブル  
アジェンダ※1

社会課題解決に貢献する製品・  
サービスの全売上に占める割合  
**55%以上維持**

※1 社会課題解決に貢献する製品・サービスの提供により、  
「地球と人の未来のためにできること」を追求する計画

▶▶▶2

自社事業基盤の強化

▶ 人材の確保・育成  
人材育成に関する社員意識調査  
肯定回答率  
**65%以上**

▶ ダイバーシティ推進  
研究所女性総合職比率 **18%以上**

▶▶▶3

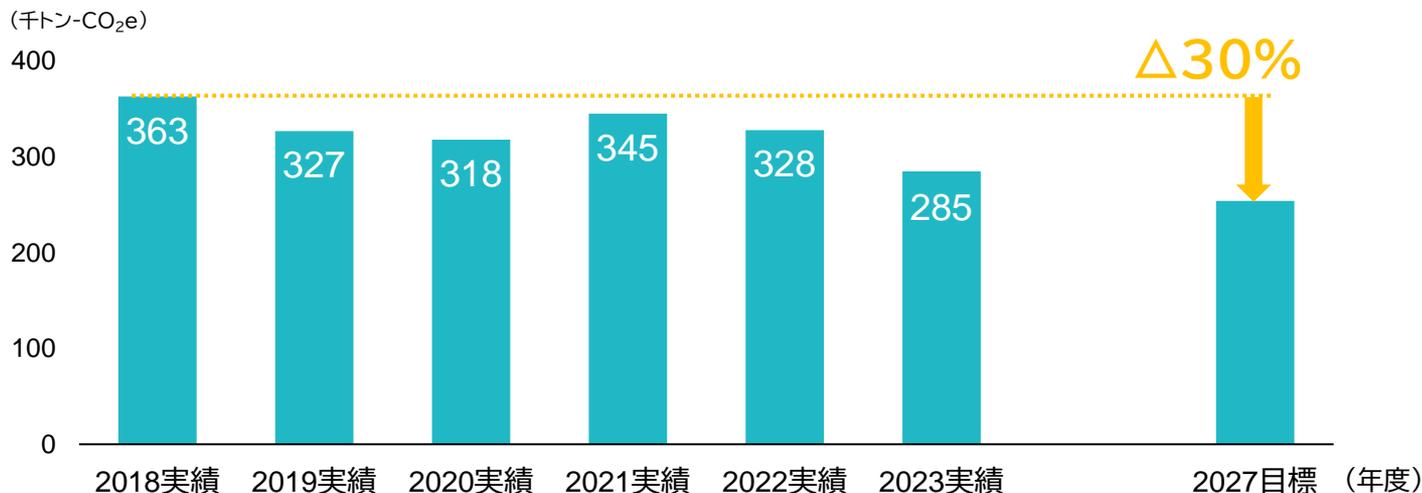
レスポンシブル・ケア活動の  
継続的強化

▶ GHG排出削減目標  
2018年度比 **30%以上削減**

当社グループの最重要課題

コーポレート・ガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンスの強化

- 2050年のカーボンニュートラル実現に向け、従来の取り組みに加え、生産技術の改善や再生エネルギー導入などに注力する
- GHG排出量2027年度目標:2018年度比30%削減(SCOPE1+2)



## 他社とのGHG排出量の比較

(千トン-CO<sub>2</sub>e)

年度	2011	2018	2019	2020	2021	2022
日産化学(単体ベース)	448	363	327	318	345	328
大手総合化学4社平均(連結ベース)	-	-	9,275	8,928	9,226	8,390

## 中期経営計画 Vista2027 (2022-2027年度)における取り組み

- 硝酸プラントからのN<sub>2</sub>O排出ゼロ  
(予定投資額 500百万円 変動費50百万円/年)
- メラミン製造中止
- 小野田工場燃料転換
- ICP本格導入によるGHG排出削減推進
- フロン機器の削減
- 省エネ機器への更新

# Contents

01

2024年度第1四半期 連結決算報告 P3

02

セグメント概況 P11

03

ESGトピックス P36

04

参考資料 P41

# 中期経営計画 Vista2027(2022-2027年度)

## セグメント別 売上高・営業利益

(億円)

		2021年度 実績※1	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想※2	2024年度 中計	2027年度 中計
化学品	売上高	376	390	356	377	376	401
	営業利益	38	14	0	6	35	39
機能性材料	売上高	817	826	846	919	1,029	1,172
	営業利益	276	254	225	244	321	380
農業化学品	売上高	658	816	821	849	778	823
	営業利益	181	231	234	241	217	210
ヘルスケア	売上高	66	67	63	64	72	115
	営業利益	28	30	28	23	21	43
卸売・その他・ 調整額	売上高	163	182	181	132	295	339
	営業利益	-13	-6	-5	-14	-9	-2
企画本部※3	売上高	0	0	0	0	13	44
	営業利益	-49	-55	-53	-57	-47	-47
合計	売上高	2,080	2,281	2,267	2,341	2,550	2,850
	営業利益	510	523	482	500	585	670

為替レート(円/ドル)	112	136	145	143	110
-------------	-----	-----	-----	-----	-----

(経営指標)

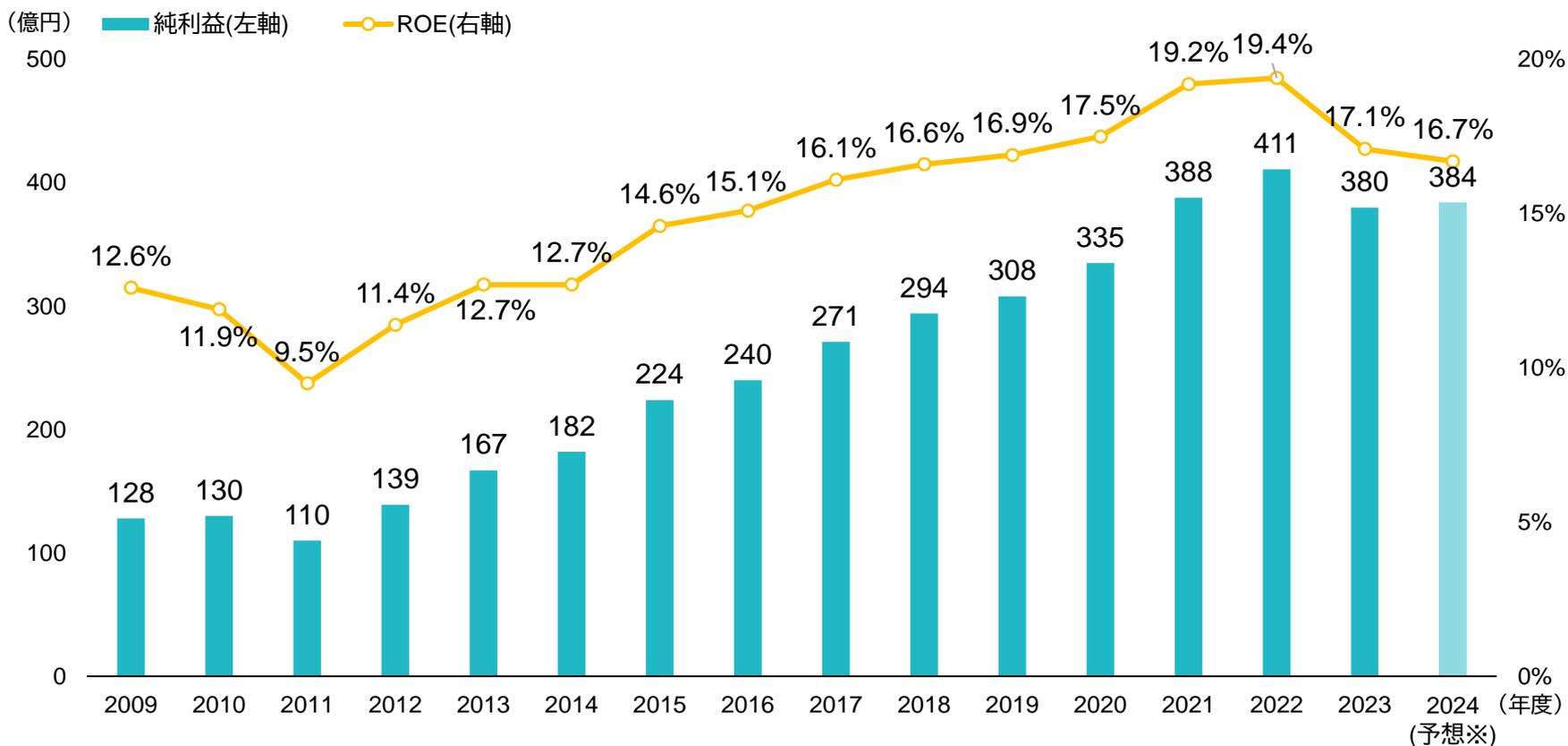
売上高営業利益率	24.5%	22.9%	21.3%	21.4%	20%以上
ROE	19.2%	19.4%	17.1%	16.7%	18%以上
配当性向	44.9%	56.3%	60.1%	58.8%	55%維持
総還元性向	75.6%	78.0%	86.2%	75%目標	75%維持

※1 2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p53参照)

※2 ROE、配当性向は自己株式の取得(5月28日発表、100億円)を反映し更新

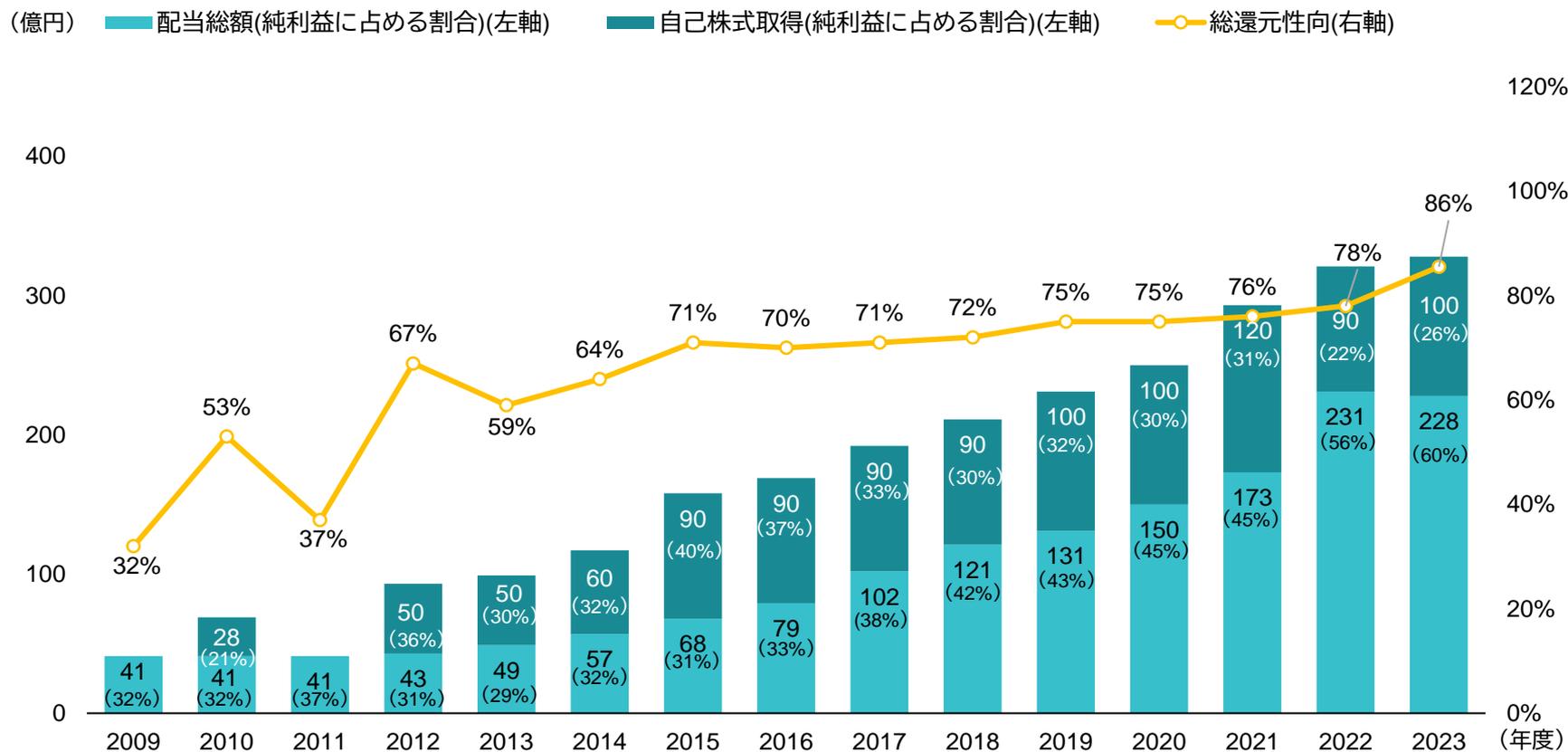
※3 企画本部は卸売・その他・調整額の内数

- ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- 前中期経営計画(2019-2021年度)では16%以上維持を目標に掲げ、達成
- 新中期経営計画(2022-2027年度)では18%以上維持が目標
- 2023年度実績は17.1%



※ ROEは自己株式の取得(5月28日発表、100億円)を反映し更新

- 前中期経営計画(2019-2021年度)では、2019年度72.5%、2020年度以降75%が目標で、全て達成
- 新中期経営計画(2022-2027年度)では75%が目標(2023年度実績は86.2%)



- ROE向上を目的に2006年度より開始
- 2006-23年度取得総額1,235億円、4,777万株(取得開始前発行済株式の25.5%)
- 取得株はすべて消却済み
- 今後も自己株式を継続的に取得し、株主還元を強化
- 2024年5月13日に自己株式取得50億円を発表、その後株式市場の動向も考慮した機動的な資本政策の一環として追加50億円を5月28日に発表(合計上限100億円)

## 2006-2023年度 自己株式取得実績(2009年度、2011年度は自己株式取得なし)

年度	2006	2007	2008	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計
自己株式取得総数(千株) <sup>※1</sup>	3,500	3,399	7,355	2,167	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	2,292	1,682	2,138	1,829	2,033	1,356	1,665	47,769
取得価額総額(億円) <sup>※1</sup>	47	50	80	28	50	50	60	90	90	90	90	100	100	120	90	100	1,235
自己株式消却総数(千株)	3,000	3,635	7,000	3,000	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	2,000	3,000	1,000	2,000	1,700	2,500	48,835
発行済株式総数(百万株)	185	181	174	171	165	161	158	156	154	151	149	146	145	143	141	139	-
期末自己株式数(千株) <sup>※2</sup>	1,367	1,233	1,660	885	1,258	522	287	1,621	2,242	1,535	1,218	523	1,352	1,384	1,029	187	-
株主総還元性向 (配当+自己株式取得) (%)	60	56	118	53	67	59	64	71	70	71	72	75	75	76	78	86	-

## 2019-2024年度 自己株式取得・消却状況

年度	2019			2020			2021			2022			2023 <sup>※3</sup>			2024
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間	年間
自己株式取得総数(千株) <sup>※1</sup>	1,270	868	2,138	1,334	495	1,829	1,262	771	2,033	683	673	1,356	805	860	1,665	-
取得価額総額(億円) <sup>※1</sup>	60	40	100	70	30	100	70	50	120	50	40	90	50	50	100	100(上限)
自己株式消却総数(千株) <sup>※3</sup>	2,000	1,000	3,000	1,000	0	1,000	2,000	0	2,000	1,700	0	1,700	1,500	1,000	2,500	-

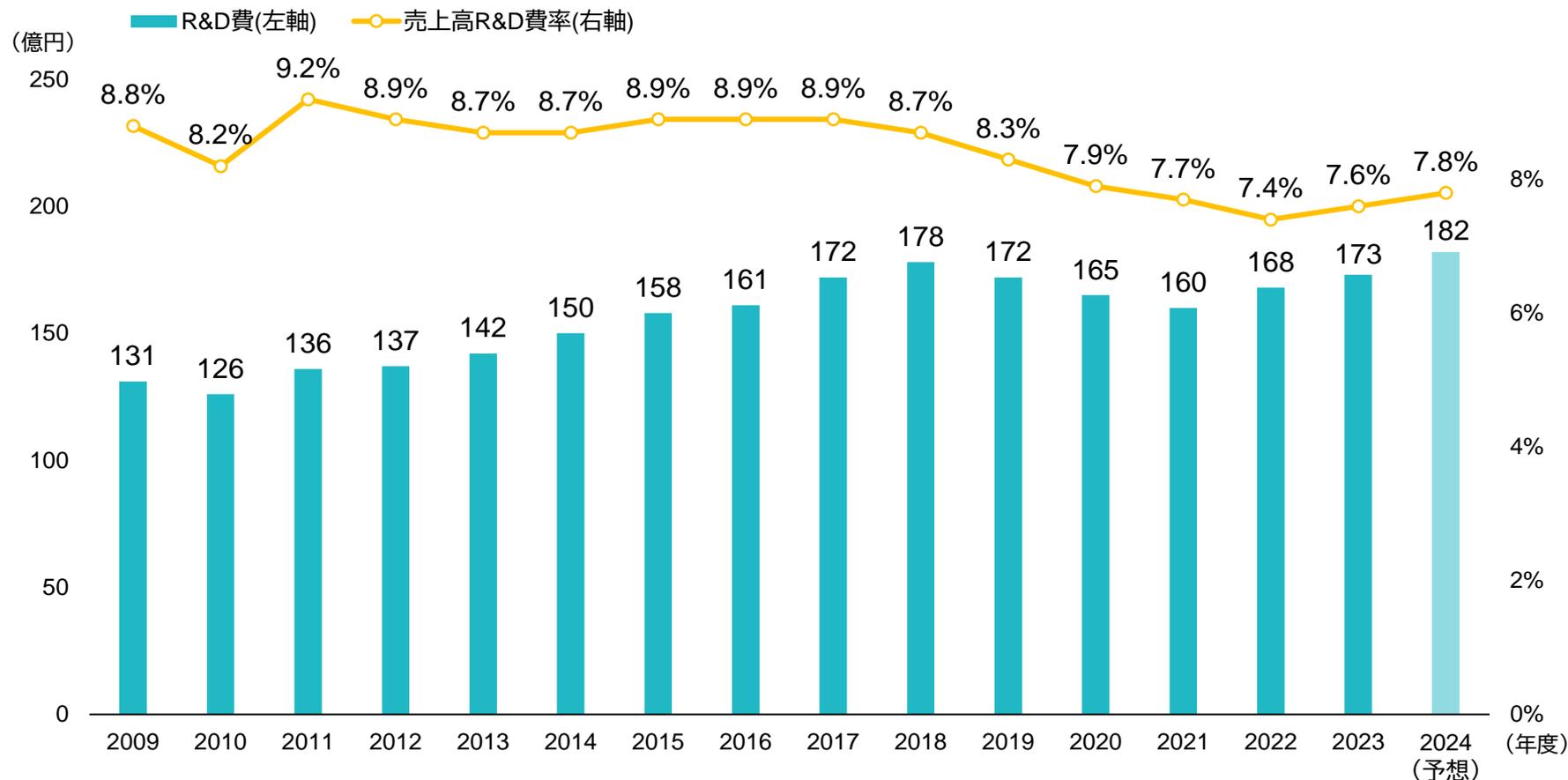
※1 単元未満株式買取、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得を除く ※2 単元未満株式、業績連動型株式報酬制度導入に伴う自己株式取得を含む

※3 2023年度上期の自己株式消却は、2023年5月12日、8月10日、2024年3月13日消却分

## キャッシュマネジメント(単体ベース)

目標現預金残高水準 = 必要下限額 + 流動性リスク対応 [1/3×(長期借入金年間返済予定額 + 短期借入残)] + 偶発リスク対応

- 独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業として、研究開発を重視
- 売上高研究開発費率は7-9%と高水準を維持
- 2020-2021年度はコロナ禍で一時的にR&D費用減

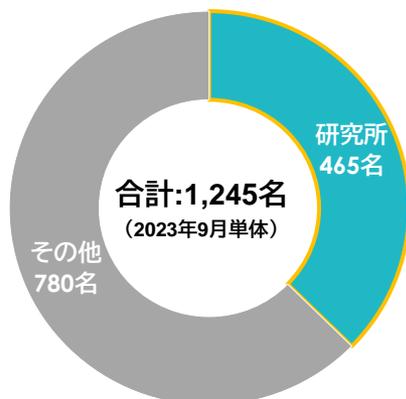


- R&Dに多額の投資を行ってもなお、会社全体で高い営業利益率を確保
- 総合職の約40%は研究開発に関わる人材

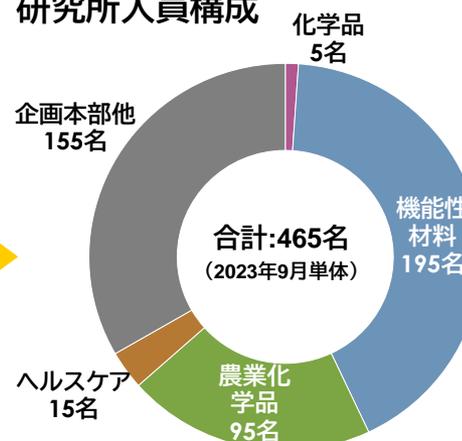
## セグメント別研究開発費

セグメント	2023年度 実績				
	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 営業利益率	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率
化学品	356	0	0.1%	3	0.8%
機能性材料	846	225	26.6%	82	9.7%
農業化学品	821	234	28.5%	43	5.2%
ヘルスケア	63	28	44.4%	4	6.3%
企画本部他	-	-	-	41	-
合計(企画本部他含む)	2,267	482	21.3%	173	7.6%

## 総合職 人員構成



## セグメント別 研究所人員構成



※ 表記している人数は概数

# 長期業績推移

(億円)

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 (予想)
売上高	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	2,080	2,281	2,267	2,341
営業利益	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	350	371	386	425	510	523	482	500
経常利益	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	362	391	400	439	537	558	516	505
純利益	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	271	294	308	335	388	411	380	384
EBITDA	316	305	345	276	301	303	259	291	308	338	383	403	455	480	492	530	612	633	620	656
売上高営業利益率	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	24.5%	22.9%	21.3%	21.4%
ROE	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	16.1%	16.6%	16.9%	17.5%	19.2%	19.4%	17.1%	16.7%
EPS(円/株)	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	180.30	197.67	210.09	231.73	271.88	291.36	272.82	279.08
配当(円/株)	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	68	82	90	104	122	164	164	164
配当性向	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	37.7%	41.5%	42.8%	44.9%	44.9%	56.3%	60.1%	58.8%
自己株式取得	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	90	90	90	100	100	120	90	100	-
総資産	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	2,460	2,470	2,495	2,655	2,797	2,987	3,235	-
純資産	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	1,764	1,821	1,855	2,006	2,080	2,215	2,309	-
現預金	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	357	377	362	306	324	347	296	227	-
有利子負債	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	308	286	266	246	227	227	273	410	-
自己資本比率	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	71.0%	73.0%	73.7%	74.9%	73.6%	73.1%	70.3%	-
設備投資	110	77	138	107	144	87	89	81	91	87	95	135	144	99	155	143	124	194	202	221
減価償却費	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	89	105	109	105	104	102	110	138	156
R&D	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	172	178	172	165	160	168	173	182
同 売上高比率	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	8.9%	8.7%	8.3%	7.9%	7.7%	7.4%	7.6%	7.8%

※ 2021- :会計方針の変更影響を含む(p52参照)

※ 設備投資:キャッシュ・フローベース

※ 2024(予想):ROE、EPS、配当性向は自己株式の取得(5月28日発表、100億円)を反映

## 売上高(A)

(億円)

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 (予想)
化学品	345	355	343	343	348	349	357	343	319	376	390	356	377
機能性材料	374	428	494	518	528	588	630	655	716	817	826	846	919
農業化学品	354	391	457	475	520	581	627	640	638	658	816	821	849
ヘルスケア	127	116	88	87	80	75	70	70	67	66	67	63	64
卸売	466	507	544	556	552	595	679	679	698	804	991	1,038	1,041
その他	212	214	209	209	240	215	246	224	238	236	264	301	287
調整額	-340	-374	-423	-419	-465	-469	-560	-543	-585	-877	-1,073	-1,158	-1,196
合計	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,934	2,049	2,068	2,091	2,080	2,281	2,267	2,341

## 営業利益(B)

化学品	19	19	19	39	38	34	30	13	15	38	14	0	6
機能性材料	72	88	120	120	125	142	150	170	224	276	254	225	244
農業化学品	50	62	92	108	132	164	184	193	182	181	231	234	241
ヘルスケア	52	49	23	20	17	12	10	9	4	28	30	28	23
卸売	14	15	17	18	17	18	20	21	25	29	37	37	32
その他	7	8	6	5	10	6	9	7	8	7	9	6	7
調整額	-19	-19	-24	-24	-25	-26	-32	-27	-33	-49	-52	-48	-53
合計	195	222	253	286	314	350	371	386	425	510	523	482	500

## セグメント資産 (2023年度)(D)

化学品	332
機能性材料	706
農業化学品	1,195
ヘルスケア	86
卸売	400
その他	211
調整額	305
合計	3,235

## 営業利益率(B)/(A)

化学品	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	9.7%	8.4%	3.8%	4.7%	10.1%	3.6%	0.1%	1.6%
機能性材料	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	24.1%	23.8%	26.0%	31.3%	33.8%	30.8%	26.6%	26.6%
農業化学品	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	28.2%	29.3%	30.2%	28.5%	27.5%	28.3%	28.5%	28.4%
ヘルスケア	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	16.0%	14.3%	12.9%	6.0%	42.4%	44.8%	44.4%	35.9%
卸売	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.0%	2.9%	3.1%	3.6%	3.6%	3.7%	3.6%	3.1%
その他	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	2.8%	3.7%	3.1%	3.4%	3.0%	3.4%	2.0%	2.4%
合計	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.1%	18.1%	18.7%	20.3%	24.5%	22.9%	21.3%	21.4%

## ROA(2023年度) (B)/(D)

化学品	0.2%
機能性材料	31.9%
農業化学品	19.6%
ヘルスケア	32.6%
卸売	9.3%
その他	2.8%
合計	14.9%

※ 売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む  
 ※ 2021- : 会計方針の変更による売上高減少を含む(p52参照)  
 ※ 卸売: 日星産業、その他: 日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ・NCアグリ函館・日本肥糧ほか、調整額: 企画本部ほか  
 ※ 企画本部の2021年度~2023年度実績値、2024年度予想数値はp42参照  
 ※ 2022年4月に組織改定を実施。2020年度実績までは旧セグメント区分、2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p53参照)

※ 2019- : 新方式セグメント別営業利益  
 1. 2020年度より変更(売上高は変更なし)  
 2. 2019年度は遡及して再計算  
 3. 連結調整(固定資産未実現利益、棚卸資産未実現利益など)は、旧方式では各セグメントに配賦していたが、新方式では各セグメントに配賦せず調整額で一括処理

# セグメント別売上高 四半期推移(2021年度～2024年度1Q)

(億円)

	2021年度 実績					2022年度 実績					2023年度 実績					2024年度 実績	2024年度 予想			
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	1Q	2Q	下期	年間
化学品	88	83	105	100	376	104	94	101	91	390	91	88	96	81	356	89	91	90	196	377
ファインケミカル	32	30	37	32	131	42	35	33	28	138	30	30	30	26	116	31	31	30	61	122
基礎化学品	56	53	68	68	245	62	59	68	63	252	61	58	66	55	240	58	60	60	135	255
機能性材料	200	196	209	212	817	218	202	206	200	826	208	197	214	227	846	235	221	226	472	919
農業化学品	134	116	119	289	658	197	160	131	328	816	188	165	132	336	821	204	199	169	481	849
ヘルスケア	11	22	20	13	66	17	15	16	19	67	20	15	13	15	63	15	18	12	34	64
ヘルスケア	6	8	5	6	25	8	6	4	6	24	6	7	6	4	23	3	3	5	11	19
ファインテック	4	15	14	8	41	8	10	12	13	43	13	9	7	10	40	12	15	7	23	45
卸売	178	186	222	218	804	237	240	270	244	991	243	245	283	267	1,038	275	241	262	538	1,041
その他	49	55	61	71	236	65	59	67	73	264	64	59	60	118	301	63	62	62	163	287
調整額	-195	-205	-241	-236	-877	-255	-258	-294	-266	-1,073	-265	-261	-302	-330	-1,158	-294	-270	-287	-639	-1,196
合計	465	453	495	667	2,080	583	512	497	689	2,281	549	508	496	714	2,267	587	562	534	1,245	2,341

※ セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

※ ヘルスケアセグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ・NCアグロ函館(農業製品の製造。2024年度より連結子会社化)・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか

※ 企画本部の2021年度～2023年度実績値、2024年度予想数値はp42参照

※ 2022年4月に組織改定を実施。2021年度実績は旧セグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p53参照)

# セグメント別営業利益 四半期推移(2021年度～2024年度1Q)

(億円)

	2021年度 実績					2022年度 実績					2023年度 実績					2024年度 実績	2024年度 予想			
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	1Q	2Q	下期	年間
化学品	13	-1	13	13	38	17	-6	4	-1	14	9	-10	4	-3	0	7	-1	-1	8	6
機能性材料	69	62	76	69	276	79	60	69	46	254	65	46	63	51	225	70	55	68	121	244
農業化学品	40	29	30	82	181	68	53	31	79	231	66	50	29	89	234	69	70	54	117	241
ヘルスケア	3	11	9	5	28	8	7	6	9	30	11	7	5	5	28	6	6	3	14	23
ヘルスケア	2	3	2	2	8	4	2	1	2	9	3	3	2	2	9	0	1	1	3	5
ファインテック	1	8	8	3	20	4	5	6	7	21	8	4	3	4	19	6	6	2	11	18
卸売	7	6	9	7	29	10	9	10	8	37	9	9	10	9	37	10	7	8	17	32
その他	1	-1	2	5	7	1	0	2	6	9	2	0	-3	7	6	1	0	0	7	7
調整額	-14	-12	-13	-10	-49	-10	-14	-16	-12	-52	-12	-11	-15	-10	-48	-19	-18	-11	-24	-53
合計	119	94	126	171	510	173	109	106	135	523	150	91	93	148	482	144	119	121	260	500

※ ヘルスケアセグメントでは、億円未満を四捨五入して表示しており、これにより合計値が合わない場合がある

※ 卸売：日星産業、その他：日産物流・日産緑化・日産エンジニアリング・NC東京ベイ・NCアグロ函館(農業製品の製造。2024年度より連結子会社化)・日本肥糧ほか、調整額：企画本部ほか

※ 企画本部の2021年度～2023年度実績値、2024年度予想数値はp42参照

※ 2022年4月に組織改定を実施。2021年度実績はセグメント区分変更後の数値に置き換え済み(p53参照)

2021年度より会計方針を変更。本ページは2022年5月発表 2021年度決算説明資料から変更なし

## 1. 方針の変更

「収益認識に関する会計基準(企業会計基準29号)」を適用

## 2. 適用時期 2021年4月1日より

## 3. 方針変更に伴うPL、BSへの主な影響

### 2021年度のPLへの影響額(前年同期比)

(億円)

	2021実績						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	年間
売上高の増減※1	-35	-74	-109	-17	-103	-120	-229
営業利益の増減※2	+12	-21	-9	+40	-32	+8	-1

※1 (1)代理人取引、(2)売上高を基礎としたロイヤリティ収入、(3)変動対価、の影響合計

※2 (2)売上高を基礎としたロイヤリティ収入、(3)変動対価、の影響合計

### (1) 代理人取引

主たる適用セグメント	化学品、農業化学品、卸売
適用後	売上総利益額見合の売上高のみ表示(適用前は売上高、売上原価を総額で表示)
2021年度PLへの影響額	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高、売上原価がそれぞれ228億円減少、営業利益には影響せず</li> <li>各セグメントの売上高には影響させず、「調整額」で控除</li> </ul>

### (2) 売上高を基礎としたロイヤリティ収入

主たる適用セグメント	農業化学品(動物薬ロイヤリティ収入)
適用前(2020年度まで)	MSD社※ 1-6月売上高見合を8月、7-12月売上高見合を翌年2月に計上
適用後(2021年度より)	MSD社※ 1-3月売上高見合を5月、4-6月売上高見合を8月、7-9月売上高見合を11月、10-12月売上高見合を翌年2月に計上

※ MSD社:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称

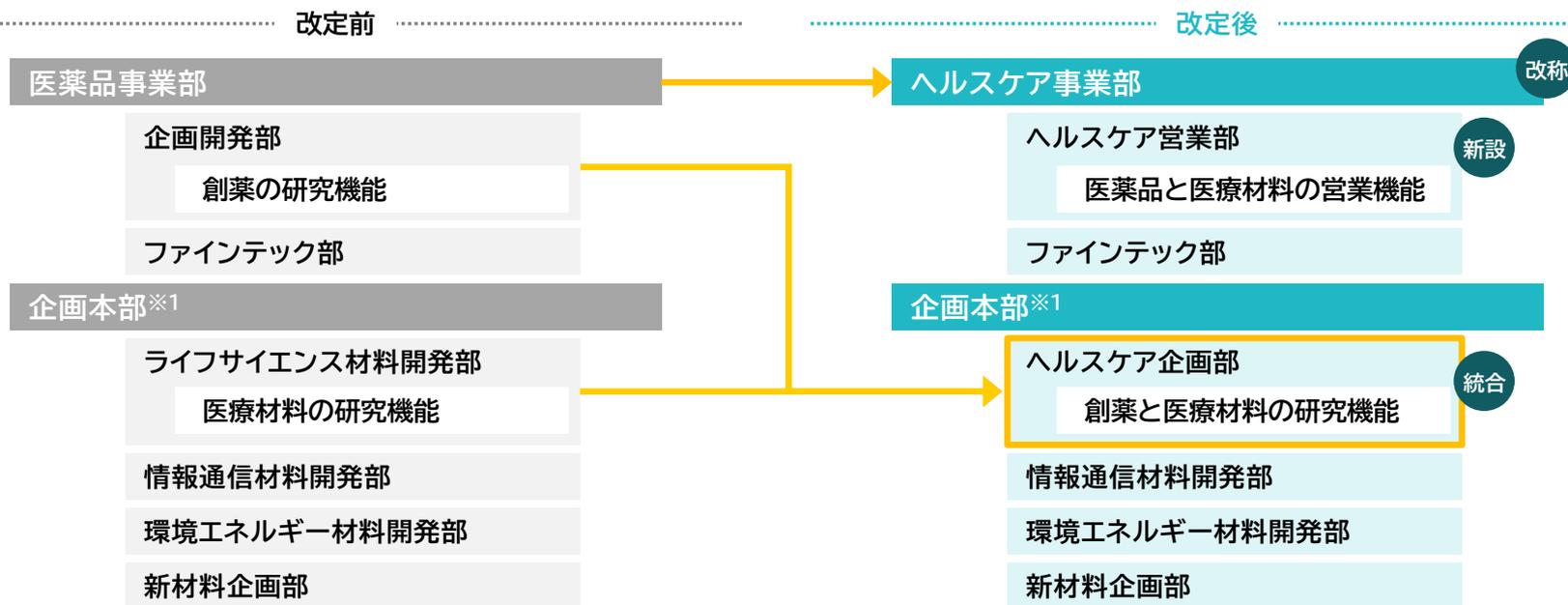
### (3) 変動対価(販売時点では変動する可能性のある売上値引など)

主たる適用セグメント	農業化学品
適用後	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上期間に応じて見積もり計上(適用前は金額確定時に計上)</li> <li>適用前に比べ、値引額は1Q増加(マイナス影響)、2Q減少、上期増加、下期減少、年間ほぼなし、の傾向</li> </ul>
2021年度BSへの影響額	2021年度期首利益剰余金(BS項目)が2020年度の遡及修正で15億円減少(税効果反映後)
適用前(2020年度)	2020農年(2019年10月-2020年9月)の売上見合い値引きのみ計上
適用後(2020年度)	上記に加え、2020年10月-2021年3月の売上見合い値引き15億円追加計上

事業環境の変化を適切にとらえながら中長期的な成長を実現していくため、2022年4月1日付で以下の組織改定を実施(2022年8月発表 2022年度1Q決算説明資料から変更なし)

## 医薬品事業部および企画本部※1ライフサイエンス材料開発部の組織改定

**目的** 創薬・医療材料の機能統合(研究機能を企画本部※1。営業機能をヘルスケア事業部)



※1 企画本部は、セグメントでは「調整額」に含まれる。  
 企画本部の2021年度～2023年度実績および2024年度予想、2027年度中期経営計画の売上高・営業利益はp42参照

セグメント		製品名	主用途
化学品	ファインケミカル	テピック	エポキシ樹脂: ソルダーレジストインク材料、LED封止材等、粉体塗料硬化剤
		メラミンシアヌレート	難燃剤
		環境化学品	プール、浄化槽用殺菌消毒剤
		ファインオキシコール	化粧品原料、潤滑油原料、電子材料用接着剤原料
	基礎化学品	メラミン(22年12月販売終了)	接着剤
		アドブルー®	ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水
		高純度硫酸	半導体用洗浄剤
		アンモニア、硫酸、硝酸、尿素	
機能性材料	ディスプレイ	サンエパー	液晶配向材用ポリイミド
		(主要モード) VA	Vertical Alignment: テレビ
		IPS	In-Plane Switching: スマートフォン、タブレット、PC、モニター、車載
	半導体	ARC®(KrF、ArF)	半導体用反射防止コーティング材
		多層材料(OptiStack®)	半導体用多層プロセス材料(Si-HM、SOC)
		EUV材料	EUVプロセス材料(下層膜、Si-HM)
	無機コロイド	スノーテックス	コロイダルシリカ: 研磨剤(シリコンウェハー、化合物半導体、半導体CMP等)、特殊鋼板
		オルガノゾル・モノマーゾル	有機溶媒・モノマー分散シリカゾル: フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤
		オイル&ガス材料	シェールオイル・ガス採掘効率向上材
	農業化学品	除草剤	タルガ
パーミット			とうもろこし、さとうきび、稲
ラウンドアップ			非選択性茎葉処理除草剤: 非農耕地、果樹園
アルテア			稲
殺虫剤		グレーシア	野菜、茶
殺菌剤		ライメイ	ばれいしょ、野菜、ブドウ
		ダイセン(マンゼブ)	果樹、野菜
動物医薬品		フルララネル	ペット用外部寄生虫薬BRAVECTO®、鶏・牛・羊用EXZOLT®原薬
ヘルスケア		リバロ原薬	高コレステロール血症治療薬
	ファインテック	課題解決型受託事業および共同開発型事業	

※ アドブルー®はドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標 ※ ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標  
 ※ BRAVECTO®およびEXZOLT®はMSD の登録商標

---

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。

本決算説明資料に掲載されている全てのコンテンツは、日産化学株式会社が所有しています。

---